

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成29年8月10日
【四半期会計期間】	第89期第1四半期（自平成29年4月1日至平成29年6月30日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 池田 憲一
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354 5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354 5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） はごろもフーズ株式会社東京支店 （東京都中央区八丁堀一丁目5番2号 はごろもビル） はごろもフーズ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄） はごろもフーズ株式会社大阪支店 （大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第88期 第1四半期連結 累計期間	第89期 第1四半期連結 累計期間	第88期
会計期間	自平成28年4月1日 至平成28年6月30日	自平成29年4月1日 至平成29年6月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高 (千円)	20,902,271	20,177,727	79,298,976
経常利益 (千円)	1,357,777	681,154	2,992,943
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	956,636	688,711	1,758,477
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	494,416	880,540	2,604,314
純資産額 (千円)	23,003,806	25,652,014	24,969,116
総資産額 (千円)	47,341,520	48,116,548	46,824,181
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	50.81	36.59	93.41
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	48.6	53.3	53.3

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高は消費税等は含みません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当社は100%子会社である株式会社マルアイを平成29年4月1日付で吸収合併しました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

平成29年3月期の有価証券報告書（平成29年6月29日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における当社グループは、前期に引き続きテレビ・新聞・雑誌・インターネットなどの媒体を活用した広告宣伝活動を展開し、ブランド力の強化を図りました。特に、テレビCM「シーチキン食堂」を中心としたメニュー提案活動により消費者の需要喚起に努めました。また、個食ニーズに対応したパウチ製品の販売を積極的に推進しましたが、ツナ製品の販売が減少し、売上高は前年同期比3.5%減の201億77百万円となりました。

利益面では、主原料であるきはだ鮭やかつおの価格の上昇に加え、販売奨励金や物流費が増加し、営業利益は6億38百万円（前年同期比47.8%減）、経常利益は6億81百万円（同49.8%減）となりました。平成29年4月1日に当社の100%子会社である株式会社マルアイを吸収合併し、繰越欠損金を引き継いだこと等により税金費用が減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億88百万円（同28.0%減）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、％）

製品群		前年同期		当第1四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	9,350,283	44.8	8,465,757	42.0	884,525	9.5
		デザート	1,350,409	6.5	1,367,840	6.8	17,431	1.3
		パスタ&ソース	1,906,962	9.1	1,954,193	9.7	47,231	2.5
		総菜	1,800,372	8.6	1,943,783	9.6	143,410	8.0
		削りぶし・のり・ふりかけ類	1,429,760	6.8	1,427,906	7.0	1,853	0.1
		ギフト・その他食品	986,760	4.7	888,845	4.4	97,914	9.9
		計	16,824,547	80.5	16,048,326	79.5	776,221	4.6
	業務用食品	3,466,899	16.6	3,591,013	17.8	124,113	3.6	
	ペットフード・バイオ他	481,819	2.3	421,892	2.1	59,926	12.4	
	計	20,773,266	99.4	20,061,233	99.4	712,033	3.4	
その他	129,004	0.6	116,494	0.6	12,510	9.7		
合計	20,902,271	100.0	20,177,727	100.0	724,543	3.5		

（注）1．上記金額は消費税等を含みません。

2．前期まで「総菜」に計上していた一部製品を、今期より「ツナ」に変更しました。前年同期実績についても、当該分307,673千円を「総菜」から「ツナ」に組み替えています。

「ツナ」では、「シーチキン食堂」と連動した季節のメニュー提案を展開しましたが、品質の向上を目的とした生産体制の見直しによる製造数量の減少等により、売上高は前年同期比9.5%減少しました。

「デザート」では、「朝からフルーツ」シリーズやフルーツパウチなど個食ニーズにマッチした製品が堅調で、売上高は同1.3%増加しました。

「パスタ&ソース」では、主力の結束タイプのスパゲッティに加え、パスタソース「おさかなでPASTA」が堅調で、売上高は同2.5%増加しました。

「総菜」では、主力の「シャキッとコーン」や個食ニーズにマッチした健康パウチシリーズが好調で、売上高は同8.0%増加しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、削りぶし「はごろも舞」やきざみのりが好調でしたが、ふりかけが低調で、売上高は同0.1%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、包装米飯「パパッとライス」が好調でしたが、ギフトの販売が低調で、売上高は同9.9%減少しました。

「業務用食品」では、コンビニエンスストア向けのツナやスイートコーンが好調で、売上高は同3.6%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、フィッシュミール等のバイオ製品やペットフードが低調で、売上高は同12.4%減少しました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、39,330千円です。なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	82,600,000
計	82,600,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年8月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,650,731	20,650,731	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	20,650,731	20,650,731		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年4月1日～ 平成29年6月30日	-	20,650,731	-	1,441,669	-	942,292

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成29年3月31日）にもとづく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成29年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,827,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,741,000	18,741	-
単元未満株式	普通株式 82,731	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	20,650,731	-	-
総株主の議決権	-	18,741	-

【自己株式等】

平成29年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) はごろもフーズ株式会社	静岡市清水区島崎町151	1,827,000	-	1,827,000	8.85
計	-	1,827,000	-	1,827,000	8.85

(注)第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は1,827,630株です。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第1四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,058,837	1,065,932
受取手形及び売掛金	16,607,422	17,301,882
商品及び製品	6,665,913	6,794,866
仕掛品	56,543	115,854
原材料及び貯蔵品	3,303,531	3,610,451
その他	2,405,793	2,373,872
貸倒引当金	204	511
流動資産合計	30,097,837	31,262,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,777,599	3,734,721
土地	3,505,898	3,505,898
その他(純額)	1,841,033	1,790,590
有形固定資産合計	9,124,531	9,031,210
無形固定資産		
438,347	425,627	
投資その他の資産		
投資有価証券	6,593,565	6,830,618
その他	573,048	570,288
貸倒引当金	3,149	3,546
投資その他の資産合計	7,163,464	7,397,360
固定資産合計	16,726,343	16,854,198
資産合計	46,824,181	48,116,548
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,636,502	13,476,165
1年内返済予定の長期借入金	500,000	1,000,000
未払金	4,849,132	2,929,461
未払法人税等	393,687	8,520
売上割戻引当金	30,813	221,689
販売促進引当金	4,690	1,365,456
賞与引当金	366,341	565,815
役員賞与引当金	1,200	-
資産除去債務	17,000	17,000
その他	766,915	956,696
流動負債合計	19,566,283	20,540,806
固定負債		
長期借入金	500,000	-
役員退職慰労引当金	659,910	662,151
退職給付に係る負債	50,982	88,016
その他	1,077,887	1,173,559
固定負債合計	2,288,780	1,923,727
負債合計	21,855,064	22,464,533

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,429	942,429
利益剰余金	22,688,258	23,179,327
自己株式	2,160,423	2,160,423
株主資本合計	22,911,934	23,403,003
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,443,679	2,682,571
繰延ヘッジ損益	99,778	76,109
為替換算調整勘定	37,684	89,762
退職給付に係る調整累計額	448,591	419,906
その他の包括利益累計額合計	2,057,182	2,249,011
純資産合計	24,969,116	25,652,014
負債純資産合計	46,824,181	48,116,548

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	20,902,271	20,177,727
売上原価	13,255,029	12,927,899
売上総利益	7,647,241	7,249,827
販売費及び一般管理費	6,425,183	6,611,811
営業利益	1,222,057	638,016
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	61,740	69,822
持分法による投資利益	48,109	-
仕入割引	9,547	8,778
賃貸料収入	19,299	20,325
その他	20,090	10,156
営業外収益合計	158,801	109,094
営業外費用		
支払利息	5,766	2,937
賃貸収入原価	10,112	9,146
持分法による投資損失	-	48,170
その他	7,203	5,702
営業外費用合計	23,081	65,956
経常利益	1,357,777	681,154
特別利益		
固定資産売却益	1,999	-
特別利益合計	1,999	-
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	397
固定資産除却損	524	19
投資有価証券評価損	196	-
特別損失合計	721	417
税金等調整前四半期純利益	1,359,055	680,736
法人税等	402,419	7,974
四半期純利益	956,636	688,711
親会社株主に帰属する四半期純利益	956,636	688,711

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	956,636	688,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	264,326	238,892
繰延ヘッジ損益	143,087	23,669
退職給付に係る調整額	21,947	23,553
持分法適用会社に対する持分相当額	76,754	46,946
その他の包括利益合計	462,220	191,829
四半期包括利益	494,416	880,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494,416	880,540
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

前連結会計年度まで連結子会社であった株式会社マルアイは、平成29年4月1日付ではごろもフーズ株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅しているため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しています。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
減価償却費	179,841千円	204,583千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

平成28年6月29日の第87期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額 235,329千円

(ロ) 1株当たり配当額 12円50銭

(うち創業85周年記念配当5円を含む)

(ハ) 基準日 平成28年3月31日

(ニ) 効力発生日 平成28年6月30日

(ホ) 配当の原資 利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

平成29年6月29日の第88期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額 197,642千円

(ロ) 1株当たり配当額 10円50銭

(うち株式会社マルアイ合併記念配当3円を含む)

(ハ) 基準日 平成29年3月31日

(ニ) 効力発生日 平成29年6月30日

(ホ) 配当の原資 利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)および当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

完全子会社の吸収合併(簡易吸収合併)

(1)企業結合の概要

結合当事企業の名称およびその事業の内容

吸収合併存続会社

名称 はごろもフーズ株式会社

事業内容 食品製造販売業

吸収合併消滅会社

名称 株式会社マルアイ

事業内容 乾物製品等の製造

企業結合日

平成29年4月1日

企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社マルアイを消滅会社とする吸収合併方式

結合後企業の名称

はごろもフーズ株式会社

取引の目的

株式会社マルアイは乾物製品等の製造を事業として展開していましたが、経営資源の集中と効率化を図るため、同社を吸収合併しました。

(2)実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)にもとづき、共通支配下の取引として会計処理をしています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	50円81銭	36円59銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	956,636	688,711
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	956,636	688,711
普通株式の期中平均株式数(株)	18,826,073	18,823,101

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8月10日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員 公認会計士 渡辺 篤
業務執行社員

代表社員 公認会計士 貴志 豊
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。